

『木の名の由来』

深津 正 小林義雄 共著



短大部教務課長 佐々木 健瑛

普段は、素通りしてしまうタイプの本（自分にとって）であるが、これを手にするきっかけは人の姓である。“木”偏に“鬼”“槐”で“エンジュ”という姓に知らない字＝中国名と思ってしまった。珍しい姓として人に話すと、その人が“エンジュ”という木があってポピュラーな木だと教えてくれた。

文字や、まして木にも詳しくない私は、単純にその木を知りたいと思った訳である。

手にしたこの本の説明文が固苦しい記述ではなく、分かりやすく引き込まれる内容に、ちょっと図書館で立ち読みしようという思いから借りる気にさせてくれた本になった。

改めて書名に「由来」の文字を見て、我々先祖の、生活上の体験の中から自然発生的に生まれたものが多く、説も色々ということも興味を抱かせる要因になっていると思う。

ちなみに“エンジュ”の木は、やはり中国で古来尊ばれ親しまれてきたもので、中国名と思ったのも間違いではないということになる。

古くから街路樹に用いられ、その昔中国で、この木の下で書生達が盛んに論議を交わしたので、大学の異名としても用いられるようになったとも記されている。

散歩に良き日、立ち止まって見てみようと思う。

枕簟の秋—秋のおとずれ—

日本文学科教授 田口 暢穂

「暑さ寒さも彼岸まで」というが、今年は本当にお彼岸の頃から急に秋らしくなった。

秋の到来に気づくという、藤原敏行の歌

秋来ぬと目にはさやかに見えねども

風の音にぞ驚かれぬる

が思い出される。

けれども私などは、風の音の微妙な変化で秋のおとずれを聞きつけるというような繊細さは持ち合わせていない。秋らしさを感じずるにしても、夕方、風が少し冷たくなったとか、簾の敷物の足触りがひんやりするようになったとかの、すこぶる直接的な、皮膚感覚の反応になってしまうのである。

だが、こうした肌で感ずる冷ややかさで秋を意識するというのも、そう馬鹿にしたものでもないのかもしれない。というのも、私の専門である漢詩の世界には、そういう表現が実際に見られるのである。有名なところで、『唐詩選』に収める許渾の「秋思」という詩がある。

琪樹の西風 枕簟の秋

楚雲 湘水 同遊を憶ふ

高歌一曲 明鏡を掩ふ

昨日の少年 今は白頭

おおまかな意味をつけておこう。

玉のように美しい木立に西風が吹き、枕やたかむしろの冷たさに秋が感ぜられるようになった。むかし楚の地の雲の下、湘水のほとりに友人とともに遊んだことが思い出され、懐かしさに堪えない。その沈みがちな気分をはらそうとして、声高く一曲歌ってみたが、ふと鏡に映った我が姿を見て、その鏡を覆ってしまった。昨日までは紅顔の少年だったのに、今は見る影もない白髪の老人になり果ててしまったのだ。

「西風」は秋風、「枕簟」の簟は「たかむしろ」。竹を編んだ敷物で、夏に寝具として用いる。「枕簟の秋」で、枕やたかむしろがひんやりと感ぜられるようになった、そこに秋の到来をはっきりと感ずる、というのである。

このような表現は、この詩だけのものではな

い。白居易には「枕簟」の涼しさ、冷ややかさに秋を感ずるという言い回しがいくつも見られる。端的な例を挙げてみよう。「春早秋初、時に因りての即事、兼ねて浙東の李侍郎に寄す」(#3167)という詩で、早春と初秋の情景や風情を対比して、

和風細かに動き 簾帷暖かに

清露微かに凝り 枕簟涼し

とうたっている。白居易にあっては、枕簟の涼しさは、初秋の風情の一典型なのだった。

ところで、ここで一つ、クイズを。秋が来たかむしろがひんやりするのは、簾の敷物や寝ごとの肌触りを思い浮かべれば私でもわかるのだが、枕が冷ややかだというのは何だろうか。すぐおわかりでしょうね。陶枕だからだろうと私は思う。

唐代、陶枕があったことは、色々な図録などで確かめることができる。唐代伝奇「枕中記」の枕は、「青甕(磁)」の枕だった。だから許渾や白居易の枕も、たぶん陶枕だったと考えてよいだろう。『大漠和辞典』には「木枕」という項目があって、木の枕もあったらしいのだが、これはどんなものだったのか、私は知らない。

ただ、鑑賞という点から考えるならば、夏の不快な暑さが去って、心地よい涼しさに秋を実感しているところを味わうべきであって、枕の材質を確かめるのは二義的なことだ、といわれるかもしれない。しかし私としては、古典作品の読解という点から考えれば、やはり何でも知っておいた方がよいと思うのだが……。

さて、ここまで書いて、日本にも肌に感ずる涼しさをうたった作品があるのを思い出した。

ひやひやと壁を踏まへて昼寝哉 芭蕉

敏行の聴覚的反応と芭蕉の触覚的反応と、どう違うのか、そのへんになると、和歌と俳諧の表現世界の違いということも考えねばならず、私の手には負えないから、紙幅もつきたことだし、後は皆さんに考えてもらおうとして、こらでやめにしておこう。

新図書館システムの紹介

1. 新システムの概要

最初の図書館システムを1989年10月に導入してから今回は2度目のシステム更新です。インターネットの社会への浸透により図書館システムもインターネットとの連携が深まっています。当館の図書館システムは、最初はオフコンのシステムを、次にはUNIXシステムを採用し、今回の新図書館システムで採用したCTC「NeoCILIUS」では、業務システムも利用者サービスもすべてパソコン上のWebブラウザ上で稼働するようになっています。

「NeoCILIUS」は、インターネットにおける情報検索機能、情報発信機能、コミュニケーション機能を取り込んで、学生・教職員の学習・研究支援を強化したシステムとなっています。さらに、学内LANと接続して図書館におけるインターネットの高速化とセキュリティを強化し、図書館ホームページによる情報提供サービスを学内外に展開することが可能になりました。

利用者用のパソコン32台では、蔵書検索、インターネット接続、データベース検索を一台ですべて行えるようになりました。これにより館内のパソコンは、単なる蔵書検索だけでなく、「図書館の蔵書」「図書館で契約している各種のデータベース」「インターネット上の情報資源」の3つを検索する機能を持つことになりました。さらに、大学のホームページから接続できる「鶴見大学学生用Webメール」「鶴見大学キャンパス情報サービス」も利用することができます。

以下、システムの機能、システム化の歴史、機器構成、目録データの作成状況、蔵書検索システム、及び、データベースについて紹介します。

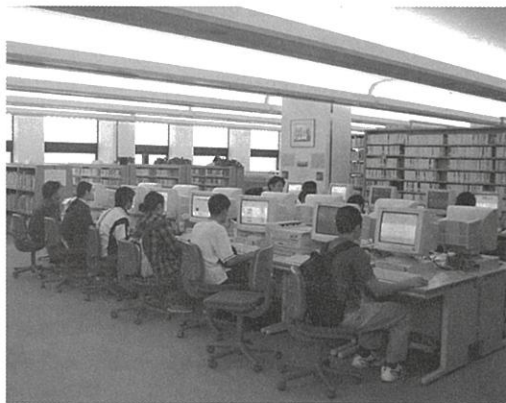
2. 新図書館システムの機能

新図書館システムは、今回導入したCTC「NeoCILIUS」、インターネット接続パソコン、図書館ホームページ、及び、各種のデータベースにより構成されます。新図書館システムの機能は以下の通りです。

1) インターネット接続機能の強化

パソコンの台数を増やし、情報コンセントを新たに設置して、利用者向けのインターネット環境を拡充しました。蔵書検索とインターネット接続を同じパソコンで行うことにして、インターネット接続用パソコンの台数を従来の6台から32台に大幅に設置台数を増やしました。このうち学生の皆さんが、インターネット接続用パソコンとして利用できるのは25台です。他に、4台はデータベース検索専用、3台は書庫と視聴覚室に蔵書検索用として配置してあります。

大学LANに図書館LANを接続して、インターネットの高速化とセキュリティを強化しました。また、図書館内で利用者自身のノートパソコンをインターネットに接続できるように、2階雑誌架奥の閲覧席と地下1階の個人閲覧室(9席)にインターネット回線を敷設しました。



2) 情報提供機能の強化

雑誌記事索引、医学中央雑誌、MEDLINEなどの2次データベース、朝日新聞や電子ジャーナルなどの全文データベースを学内に提供しています。自宅からもインターネットに接続したパソコンがあれば、図書館ホームページにアクセスして図書館の蔵書検索が可能になります。

3) プレゼンテーション機能の強化

81席ある地下1階ホールには、インターネット回線とパソコンを設置してプレゼンテーション機能を強化しました。

4)蔵書検索システム(OPAC)の強化

OPACでは以下の点が強化されました。

- ・ 蔵書検索における検索機能が向上
- ・ 蔵書検索の画面は中間色を使った見やすい画面
- ・ 蔵書検索のマルチメディア化
- ・ 検索した資料の配架場所へのリンク
- ・ 紀伊國屋書店のBook Webへのリンク
- ・ メールでの検索結果の受け取り
- ・ 蔵書検索画面からの貸出予約、文献複写依頼
- ・ 貸出中の図書の確認などの利用照会
- ・ 利用者からのインターネット投書
- ・ 指定図書／参考文献参照による学習支援機能

5)図書館ホームページのポータル化

図書館のホームページに接続することで以下のサービスを一元的に利用できます。

- ・ 図書館ツアー
- ・ 利用ガイダンス
- ・ 蔵書検索
- ・ 電子ジャーナルの利用
- ・ インターネット上の情報資源の検索
- ・ データベースによる情報検索

6)図書館業務の強化

これまでの NEC「LICSU-UX」で実現していた機能と蓄積した目録データを引き継ぎ、システムのデータをエクセルなどで利用できるような形式で抽出し、再加工して業務データとして利用できるようになりました。発注中、受入済、整理済、配架済などの各業務段階にある図書データを横断的に検索できます。

図書館業務を行うパソコンでインターネットの利用、各種アプリケーションも実行できるようになり、業務の作業効率が向上します。

7)システム保守の簡便性

ブラウザでの業務稼働により、システムのメンテナンスが簡便になります。

3. 図書館システム

1)導入の歴史

- 1989年10月 オフコンによる NEC「LICS-U」を導入、受入・発注、目録業務を開始
- 1989年11月 蔵書検索用端末 5 台で所蔵検索を開始、既存の図書はカード目録で検索

- 1990年 4 月 機械による貸し出しの開始
- 1990年 9 月 雑誌所蔵データの提供開始
- 1991年 4 月 カード目録の遡及入力開始
- 1995年 9 月 UNIX による NEC「LICSU-UX」にシステムを更新、蔵書検索用パソコンを13台
- 1996年 6 月 インターネット接続用パソコン 1 台を設置し試験公開、2000年11月から 6 台(3台増設、蔵書検索端末 2 台を併用)
- 1999年10月 図書館ホームページの開設、学外向けの Web OPAC の公開を開始
- 2001年10月 ブラウザで稼動する CTC「Neo CILIUS」にシステムを更新、蔵書検索も行えるインターネット接続用パソコンを32台

2)目録データ

全蔵書60万冊のうち35万冊がパソコンから検索可能になっています。1996年 4 月には開架和図書約 6 万冊の目録データの遡及変換を終了し、2001年 9 月には10万冊の遡及変換が終了しています。

3)ハードウェア

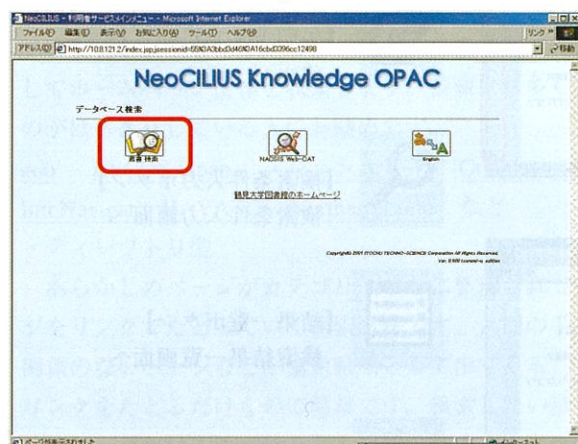
システムの構成は以下の通りです。

- ・ サーバ 6 台 (既存 2 台)
 - データベースサーバ
 - OPACサーバ
 - Webサーバ
 - 利用者用パソコン制御サーバ
 - CD-ROMサーバ
 - MEDLINE用サーバ
- ・ 業務用パソコン 25 台 (既存 3 台)
- ・ 利用者用パソコン 32 台 (既存 3 台)
 - 2 F 4 台：データベースコーナー
 - 1 F 20 台：目録・インターネットコーナー
 - 1 台：書架
 - 4 台：データベースコーナー
 - B1 F 1 台：視聴覚室
 - 1 台：書庫
 - B2 F 1 台：書庫

図書館OPACの紹介

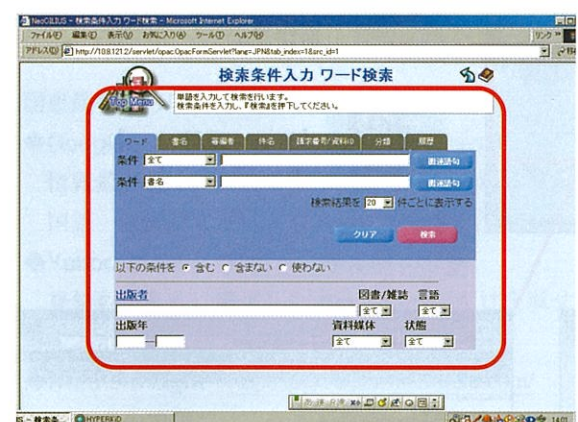
2001年10月1日から蔵書検索システム（OPAC）が新しくなりました。蔵書検索機能としては書名、著者名、キーワード等の検索にも対応しています。また、所蔵されている資料の配架場所の画像や紀伊國屋書店のBook Webとのリンクにより、さらに便利になりました。現在は蔵書検索のみですが、機能を充実させていく予定です。

◆NeoCILIUS Knowledge OPAC の使い方



Top Menu画面

蔵書検索をクリックすると検索条件入力画面が表示されます。



検索条件入力画面

当てはまる項目に検索語を入れ検索。検索語が複数の場合は、スペースで区切って入力して下さい。

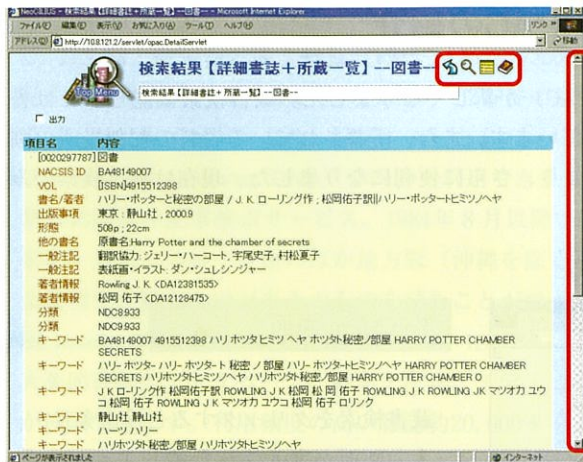
検索 ボタンをクリックすると検索結果一覧が表示されます。



検索結果【一覧】画面

並び替え ボタンをクリックすると一覧の並び順を変更できます。

詳細表示は書名をクリックして下さい。



検索結果【詳細書誌+所蔵一覧】画面

当館の所蔵情報は画面の一番下に表示されますので、画面をスクロールして下さい。

操作ボタン説明



【矢印ボタン】
前画面へ戻る



【検索条件入力ボタン】
検索条件入力画面へ



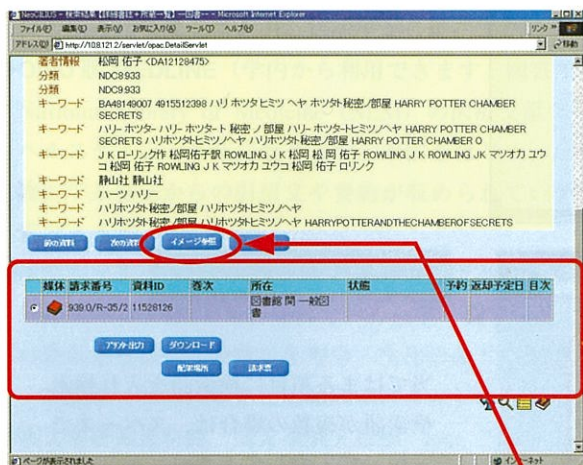
【結果一覧ボタン】
検索結果一覧画面へ



【HELPボタン】
操作方法



【Top Menuボタン】
Top Menu画面へ



請求番号+所在で資料の配架場所がわかります。また、**配架場所**のボタンをクリックすると地図が表示されます。



検索結果【一覧】画面で画像項目にカメラの絵がある書誌は検索結果画面で**イメージ参照**のボタンをクリックすると紀伊國屋書店のBook Webのデータを見ることができます。

図書館のデータベース・CD-ROM紹介

1. インターネットを利用して、欲しい情報を探すには？

インターネットから必要な情報を探すには、既にホームページのアドレスを知っている場合を除けば、サーチエンジンを上手に活用するのが情報入手の早道です。サーチエンジンとは、インターネット上に存在する情報を探すためのアドレス帳のようなものです。サーチエンジンには大きく分けて二つのタイプがあります。

・ロボット型

ロボットと呼ばれるインターネット自動巡回プログラムを使って、常にインターネット上を徘徊してホームページ情報を収集します。情報量も多く、あらゆるものが検索されるため、探したいものははっきりしている人にお勧めです。

[goo](#) [LYCOS Japan](#) [フレッシュアイ](#) [Google](#) [Infoseek Japan](#) [Excite Japan](#) [Alta Vista Japanese](#)
[InfoNavigator HAYATE](#) [Northern Light](#) など

・ディレクトリ型

あらかじめページがカテゴリーごとに整理されているので、大まかな概念から、面白そうなページをリンクでたどっていく検索方法です。人間の手でひとつひとつ分類して登録されていくので、関係のないページなどが検索結果として出てくることはありません。情報を検索するのもページのリンクをたどるだけなので簡単です。検索したい情報が漠然としている場合などに適しています。しかし、登録は人手で行われるため、情報が限られてきます。

[Yahoo! JAPAN](#) [NTT DIRECTORY](#) [INET Guide](#) [Dragon Next](#) など

図書館お勧めのサーチエンジン

◆Google 日本語版 <http://www.google.com/>

情報量が多く、高速でかつ重要度の高い順に検索結果を表示してくれます。日本語だけでなく韓国語・中国語などにも対応しています。

◆Yahoo!JAPAN <http://www.yahoo.co.jp/>

登録数が多く、厳選したホームページだけを載せています。官公庁・公共機関などの確実に存在するホームページを検索するのに便利です。

◆Northern Light <http://www.northernlight.com/> (欧文)

Web上の情報だけでなく米国 Northern Light Technology 社のデータベースに蓄積されている情報も同時に検索ができます。「Special Collection」と名付けられたデータベースには、エンターテインメント情報から教育、科学といったものまで幅広いジャンルの書籍や雑誌、辞典などからの情報が蓄積されています。記事タイトルや抄録を無料で見ることができます。

2. 図書館から利用できる主なデータベース

図書館ではインターネットから利用できるデータベースをサービスしています。URLが表示されているものは、自宅などからでもアクセスできます。利用方法について不明な点は、図書館メインカウンター（内線8274）にお問い合わせください。また、それぞれのデータベースに使い方の詳しい情報が載っています。

◆日外WEB サービス BOOKPLUS (図書館内で利用できます)

昭和元年から現在まで161万件の書籍情報。一部の図書には、内容案内もついています。

◆**日外 WEB サービス MAGAZINPLUS** (図書館内で利用できます)

「学会年報・研究報告論文総覧」(1945-1995年の6000誌・35万件の記事情報)「経済・産業記事見出し JOINT」(1981-1995年の1300誌・62万件の見出し情報)ファイルに「雑誌記事索引」・「ジャーナルインデックス」をプラスしたもの。一般誌から学術・学会誌まで一括検索できます。

◆**Digital News Archives (DNA)** (学内から利用できます。図書館ホームページにアクセスしてください)

朝日新聞社の記事検索サービス。1984年8月以降の約260万件の記事を取録。ニュース・芸能・家庭・文化・スポーツ面のほか地方版(沖縄を除く)の検索も可能です。写真・図版を除いた全文情報で、画面上で記事そのものを読むことができます。

◆**BL inside Web** (学内から利用できます。ID・パスワードは図書館にお問い合わせください)

大英図書館のデータベース。科学・医学・工学・ビジネス・法律・人文社会など広い分野の文献が検索できます。利用頻度の高い雑誌約20,000タイトル、会議録17,000タイトルを取録しています。1993年以降の論文情報。

◆**日本子ども家庭総合研究所データベース (Aiken)** <http://www.aiiku.or.jp/Database.htm>

保育関連の雑誌記事索引。1980年から現在までの約18万件の文献が検索できます。

◆**OID 版 MEDLINE** (学内から利用できます。図書館ホームページにアクセスしてください)

National Library of Medicine (NLM) の医療文献データベース。分野は、薬品、介護、歯科系、ヘルスケアなど多岐に渡ります。米国をはじめ、70ヶ国で出版された4,300誌をこえる最新の生物医学系雑誌からの引用文や要約が収められています。1966年以降の約1,100万件のデータが検索できます。

◆**医学中央雑誌** (学内から利用できます。図書館ホームページにアクセスしてください)

収録文献は、国内で発行されている医学・歯学・薬学およびその関連領域から収集された約2,300の資料から採択。分野は生理学・生化学などの基礎分野から臨床医学の各分野、さらには獣医学・看護学・社会医学など広範囲におよんでいます。

◆**国文学研究資料館 国文学論文目録** <http://www.nijl.ac.jp/bunseki/index.html>

国文学研究資料館の公開データベース。1940年から現在までに国内で発表された雑誌・紀要・単行本(論文集)等に収められた論文が検索できます。

◆**Dictionary of Old English Corpus** (学内から利用できます。図書館ホームページにアクセスしてください) あらゆる古英語テキストをデータベースにしたもの。

◆**NACSIS-Webcat** <http://webcat.nii.ac.jp/>

国立情報学研究所(旧学術情報センター)の総合目録データベース。全国の参加館(主に大学・短大図書館)の図書・雑誌の所蔵が検索できます。

◆**国立国会図書館 Web-OPAC** <http://webopac.2ndl.go.jp/>

国立国会図書館が所蔵する和図書データ(1948年以降受入分のみ・約200万件)、および洋図書データ(1986年以降受入分のみ・約20万件)が検索できます。

*国会図書館は20歳以上でなければ利用できません。

◆**神奈川県立図書館 (KL-NET)** <http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/opac/index.html>

神奈川県立図書館・神奈川県立川崎図書館の図書・雑誌・AV資料の所蔵が検索できます。

*貸出サービスも受けられます。(手続きには学生証もしくは身分証明書が必要です)

◆**横浜市立図書館** <http://www.2.city.yokohama.jp/YCLIB/owa/search.inp cond>

横浜市立図書館の図書・雑誌・新聞、AV資料の所蔵が検索できます。

*貸出サービスも受けられます。(手続きには学生証もしくは身分証明書が必要です)

3. 図書館で利用できる主なCD-ROM

下記のCD-ROM はすべて図書館の専用端末で利用できます。これ以外にも利用できるCD-ROM があります。図書館にお問い合わせください。

◆世界大百科事典 第2版 CD-ROM/DVD-ROM (平凡社)

冊子版の「平凡社世界百科事典」全35巻を電子化したもの。物事を調べるための事典。思いついた言葉、項目から検索ができます。図版・動画・統計資料・地図などが瞬時に検索できます。

◆Encyclopaedia Judaica (Keter Publishing House)

「Encyclopaedia Judaica」全18巻を電子化したもの。ユダヤに関するあらゆるジャンルの情報を一枚のCD-ROMに集約しています。

◆現代日本人名録2000 (日外アソシエーツ)

政治・経済・学術・文化・芸能などのあらゆる分野で活躍する12万人の情報が検索できます。学歴、受賞、その他詳しい情報が載っています。日本に関わりのある在日外国人も含んでいます。

◆現代法律百科大辞典 (ぎょうせい)

「現代法律百科大辞典」全8巻を電子化したもの。判例・著者・問答検索のほか、いろいろな面から検索が可能で、法令そのものを見ることができます。

◆理科年表 (国立天文台)

文部省国立天文台編纂の理科年表69冊分(大正14年版・平成8年版)のデータを電子化したもの。天文・気象・物理・科学・地学・生物のデータを目次・索引・簡単なキーワードから検索ができます。

◆Journal citation reports Science ed. (Institute for Scientific Information)

学術雑誌が他の雑誌に引用された回数、他の雑誌を引用した回数、雑誌が発行されてから引用されるまでの期間等が数値化されていて、その学術雑誌の利用度・貢献度・重要度を測ることができます。収録誌数は約5,000誌にのびります。

◆Oxford English Dictionary 第2版 (Oxford University Press)

冊子版の「Oxford English Dictionary」全20巻を電子化したもの。総語彙数50万、引用(用例)250万の世界最大の英語辞典。全ての意味において、可能な限り適切で参照しやすい用例があり、重要な単語全てに対して語源(確定しない場合は種々の学説・考察を含む)が載っています。

◆新編国歌大観 (角川書店)

「新編国歌大観」全10巻1162集の歌集本文(約45万首の和歌を収録)と解題を収録。句検索、語彙検索、歌集・歌番号検索、勅撰集作者検索などの検索ができます。

◆The New York Times 1992- (UMI)

米国の新聞「The New York Times」の全文記事。キーワードから検索できます。

◆国立国会図書館所蔵逐次刊行物目録 (国立国会図書館)

国立国会図書館が所蔵する雑誌・新聞・通信・年鑑・年報などの欧文・和文の逐次刊行物16万タイトルが検索できます。

*国会図書館は20歳以上でなければ利用できません。

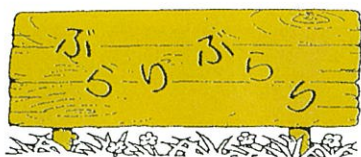
◆文化財科学文献データベース (日本文化財科学会)

2000年までに刊行された文化財科学関係の約2万件のデータが検索できます。対象となる文化財には埋蔵文化財のほか、建築・美術等の文化財が含まれています。

新刊あらかると

最近整理された本の中から図書館員がおすすめする本を紹介しています。すべての新刊本は、入口正面の新着図書展示棚に1週間展示されます。

総記	・やさしいコンピュータ入門 山本喜一著 (パソコンの構造と処理過程)	007.63/Y
	・写本遍歴の旅 近川澄子著 (彩飾写本を求めた旅の記録とその写真)	022.23/C
	・21世紀の必読書100選 河上倫逸編 (新世紀を生きるのに読む本)	㊄025.1/N
哲学	・危機を生きる 杉原一昭編 (年齢別にどのような危機があるかを語る)	143/K
	・巨石文明の謎を解き明かす 桜井邦朋著 (考古天文学の案内)	202.5/S
歴史	・地層の知識 町田洋他著 (地層のでき方、環境、時代を知る方法)	210.025/C
	・卑弥呼のくに土佐 中町子菊著 (四国王朝の存在を実証した力作)	210.3/N
	・沈黙する女王の鏡 関裕二著 (邪馬台国の謎を解く台与について)	210.3/S
	・エジプトのミイラ アリキ文と絵 (ミイラ作りのふしぎに迫る絵本)	242/B
社会科学	・平成の政治家 浅海伸夫著 (日本の政治指導者の功と罪を検証する)	312.1/A
	・少年法のあらたな展開 猪瀬慎一郎他編 (少年法の研究活動の成果を問う)	327.8/S
	・親・乳幼児心理療法 D.N.スタン著 (乳幼児精神保健分野の心理療法の本質)	367.3/S
	・医療・福祉・介護ガイドブック 山北勝寛他編著 (医療福祉の最新知識の提供)	369/Y
	・バリアフリー思想と福祉のまちづくり 萩原俊一著 (日本のバリアフリーの事例)	369.26/H
	・蕾のひらく日 鳥海昭子著 (児童養護施設で働き共に生きた体験)	369.44/T
	・新しい世代の英語教育 町田隆哉他著 (語学ラボラトリーの在り方と教材設計)	375.89/A
自然科学	・パソコンで見る流れの科学 矢川元基編著 (流体力学の最新成果を知る)	423.8/Y
	・水を知ろう 荒田洋治著 (水分子の変化像とその広い世界に迫る)	435.44/A
	・空を見る 平沼洋司文 (空や雲が身近になるエッセイとフォト)	451/H
	・海の森の物語 横浜康継著 (多様な生物を育む海藻の森の世界)	474/Y
	・がんの健康科学 小林博他編著 (今日のがん科学のエッセンスを伝える)	491.615/G
	・人はなぜハマるのか 廣中直行著 (ハマる脳のメカニズムを通して自身を知る)	493.74/H
	・健康歯並び 坂本敏彦他著 (歯並びの悩みと歯科矯正治療について)	D55/S
工学・技術	・子どもと遊ぶ電気のおもちゃ箱 西田和明著 (電気のおもちゃを作る)	507.9/N
	・焼肉は好きですか? 鄭大聲著 (焼肉通になれる驚きのエピソード)	596.12/C
産業	・森林インストラクター 西口親雄著 (森を生きる動物のつながりを解き明かす)	654.8/N
	・江戸と上方 林玲子著 (流通から見た近世の社会変動)	672.1/H
芸術	・フラ・アンジェリコ G.ディ・エウベルマン著 (未踏の視覚世界の深奥を示す論考)	702.37/Y
	・メンデルスゾーン ハンス・クリストフ・ヴォルプス著 (書簡や証言を通して迫る)	762.34/M
	・最新スポーツルール百科 大修館編 (様々なスポーツのルールを解説する)	㊄780.36/S
	・につぼん野球の系譜学 坂上康博著 (明治の野球人の言説を読み解く)	783.7/S
語学	・創造する翻訳 中村保男著 (日本語と英語を比較して翻訳全般を考える)	801.7/N
	・通訳席から世界が見える 新崎隆子著 (通訳の魅力とスキルアップの極意)	801.7/S
	・日本語の歴史 坂梨隆三他編著 (時代による言葉の変化とその関連)	810.2/N
	・かまくらで文学を考える 山口博著 (鎌倉の寺と作家のつながりを見る)	910.268/Y
文学	・終末への序章 服部康喜著 (太宰文学の終末論的発想に注意を向ける)	913.6/D-2/H
	・象徴の騎士たち 早乙女忠著 (スペンサーの「妖精の女王」が生まれた事情)	932.2/S
	・エリナー・ファージョン 川越ゆり著 (ファージョンの物語世界の魅力を探る)	939.0/F-1/K



都心から車で1時間半、標高約1,000mの所にあり、空気が澄んでいて富士の湧き水が豊富な山中湖をご紹介します。

富士五湖のひとつでもある山中湖は、山梨県東部に位置し、この時期になると紅葉を目当ての旅行客も増え、ぶらりと行けるような場所としては最適です。東名御殿場から30分程で到着します。ドライブの休息がてらちょっと甘いものが欲しくなったら、旭日丘交差点を右に曲がって5分ほど走ったところにある「ペーパームーン」のチェリーパイがオススメ。焼きたてのパイとアイスクリームのハーモニーが絶妙で、高原の林の中で飲むコーヒーと紅茶も格別です。また対岸にある「ラバン」で山中湖越しに見る富士山の絶景を楽しみながらのソフトクリームに舌鼓を打つのもいいかもしれません。コクのある味わいは山中湖で一番と思われ、店内でい

ただくエスプレッソがけも絶品。

甘いものを食べた後に体を動かしたいと思うなら、湖周辺にサイクリングロードがあるので、涼しい秋風を浴びながら自転車に乗ってみたり、ボートで湖に出て違った視点からの紅葉を楽しんだりしてはどうでしょうか。キャンプ施設やテニスコートなども多数あって充実しています。湖畔には数多く無料駐車場もあるので安心です。

山中湖からちょっと足をのばすと忍野八海があります。ここの湧き水は富士山の山頂に降った雪が地下水となり、何十年もかけて湧き出したものです。どこまでも澄んだ池には鯉などの魚が元気よく泳いでいます。

最後に旅の疲れを癒すには山中湖村営の「紅富士の湯」で。檜の露天風呂や寝湯の他にも様々な風呂を楽しむことができ、値段も1日700円とリーズナブル。ただし連休は混んでいるので要注意。

ぜひ一度行ってみて下さい。

(財務部経理課 中村昌平)



2001年度上半期視聴覚ベストテン

レーザー・ディスク

- 第1位 ハムナプトラ
- 第2位 シックス・センス
- 第3位 ザ・ビーチ
- 第4位 羊たちの沈黙
- 第5位 リトル・マーメイド
- 第6位 アルマゲドン
- 第7位 恋に落ちたシェークスピア
- 第8位 スクリーン 3
- 第9位 ターザン
- 第10位 パッチ・アダムス

CD (アーティスト別)

- 第1位 JUDY AND MARY
- 第2位 KinKi Kids
- 第3位 Dreams Come True
- 第4位 B'z
- 第5位 Mr. Children
- 第6位 サザン・オール・スターズ
- 第7位 Every Little Thing
- 第8位 スピッツ
- 第9位 ゴスペラーズ
- 第10位 globe

LDベストテン第1位の「ハムナプトラ」、第4位の「羊たちの沈黙」などは、もともと人気の高い作品でしたが、続編が公開されたことで、さらに利用が増えたようです。話題作「シックス・センス」は、惜しくも第2位でした。CDベストテンの上位3位は、ほとんど差がありませんでしたが、今年の春に解散したJUDY AND MARYがトップとなりました。

図書館だより

11

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	
4	⑤	6	7	8	9	10
11	⑫	13	14	⑮	16	17
18	19	⑳	21	22	23	24
25	②6	27	28	29	30	

12

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	⑤	6	7	8
9	⑩	11	12	13	14	15
16	⑰	18	19	⑳	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2002/ 1

日	月	火	水	木	金	土
						1
		2	3	4	5	
6	7	8	9	⑩	11	12
13	14	⑮	16	17	18	19
20	⑳	22	23	24	㉔	26
27	28	29	30	31		

開館時間 平日 9:00～20:00(水曜日は9:30開館) / 土曜日 9:00～16:00

赤字: 休館日 □: 開館時間短縮日 (平日 9:00～16:30 / 土曜日 9:00～12:30)

□: 月末短縮開館(13:00～20:00)

視聴覚室は月～金の10:00～18:30開室(12/25～1/7・1/15～3/29閉室)

○は、初級インターネット講習の日 10:40～約1時間

◆冬休みの貸出について

冊数 変更ありません。

期間 12月10日(月)から12月22日(土)
に借りた図書の返却日は1月7日(月)
です。

※12月25日(火)からは平常の貸出
になります。

◆視聴覚室から

下記期間閉室いたします。

12月25日(火)～1月7日(月)
1月15日(火)～3月29日(金)

ガイダンスが
変わります。



「初級インターネット講習」のお知らせ

図書館では、11月から初心者向けのガイダンスとして「初級インターネット講習」をはじめます。インターネットを使いこなして知りたい情報を早く手に入れるにはどうすればよいか、をお教えします。図書館で所蔵している資料の探し方や各種データベースの使い方もわかります。

11月～(2・3月はお休み)

毎月 5・10・15・20・25日 10:40～約1時間

※ただし、土曜日の場合は月曜日・閉館日の場合は翌日に変更になります。

集合場所は1階メインカウンター前です。

アゴラ - 鶴見大学図書館報 - 第102号 2001年11月1日発行 編集・発行 鶴見大学図書館 露木 悟義

〒230-8501 横浜市鶴見区鶴見2-1-3 ☎045-581-1001 FAX045-584-8197

<http://opac-sv.tsurumi-u.ac.jp/library/index.html>

印刷/朝日オフセット印刷株式会社